No.	事業名	貢献度	優先度	総合評価	総合評価の考え方	改善点
1	福祉有償運送活動支援事業	B	C	市:休止・廃止	当初からの目的が達せられる見込みであるため、平成23年度で事業を廃止する。	
2	家族介護慰労事業（寝たきり高齢者等介護手当支給事業）	B	B	市:現状維持	支給金額については、県下でも中くらいの位置であり、金額の変更は行わない。現状のとおり、実施すること。	現状のとおり、実施する。
3	外出支援サービス事業（通院等支援サービス事業）	B	B	市:現状維持	在宅福祉サービスの充実の上では、貢献度、優先度ともに高い事業である。抽出チェックを行い、適正な執行管理に努めること。	委託事業所への実施状況の抽出チェックを行い、適正な執行管理に努める。
4	緊急ショートステイサービス事業	B	B	市:業務改善	ショートステイとショートステイの間の利用については、緊急ショートステイ本来の目的から離れている。事業のあり方を見直すこと。	ケアマネから事業の事前申請を徹底し、目的にあった利用となるようする。
5	高齢者向け住宅改修助成事業	B	C	市:現状維持	在宅福祉サービスの充実の面から、貢献度は高い事業である。対象者に事業活用が図られるように、周知に努めること。	事業の周知をはかり、事業の活用に努める。
6	寝具洗濯乾燥サービス事業（寝たきり高齢者等寝具洗濯サービス事業）	B	C	市:業務改善	要綱の見直しを行い、対象を明確にすること。	要綱の見直しを行い、対象者を明確にする。
7	老人クラブ助成事業	B	C	市:業務改善	補助金交付要綱の見直しをすること。その際に、会員数に応じた補助額を検討すること。	要綱の見直しを行う。会員数に応じた補助額の検討。
8	シルバー人材センター運営助成事業	B	C	市:業務改善	補助金の考え方を明確にすること。併せて、シルバー人材センターの運営形態の改善（単価の見直し等）の必要性も指導すること。	運営の状況詳細に確認し、運営改善の指導を行い、補助額を検討する。
9	児童デイサービス給付事業（障害児通所支援事業）			市:現状維持	義務的経費であるので、貢献度・優先度評価は行わない。現状のとおり、実施すること。	現状のとおり、実施する。
10	補装具費支給事業			市:現状維持	義務的経費であるので、貢献度・優先度評価は行わない。現状のとおり、実施すること。	現状のとおり、実施する。
11	障害者交通費助成事業	B	C	市:現状維持	増額や地域格差の是正については、外出支援サービス、おでかけパス等の見直しと併せて整理することとし、現状のとおり実施すること。	現状のとおり、実施する。
12	障害者向け住宅改修助成事業	B	C	市:現状維持	現状のとおり、事業を実施すること。	現状のとおり、実施する。